

第2部

適正輸血を推進するためのキャッチフレーズ及び標語の優秀作品表彰式

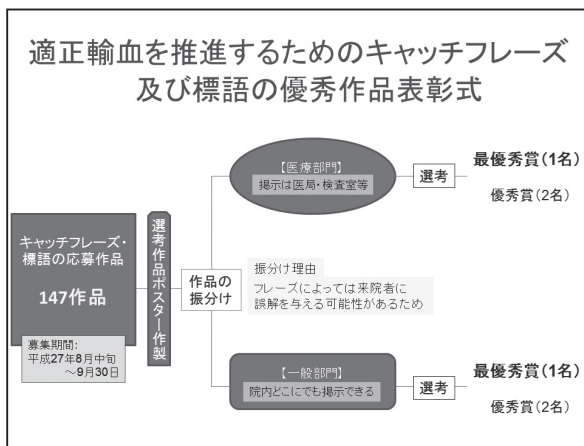
贈呈者：池淵 研二 埼玉医科大学国際医療センター 輸血・細胞移植部
芝池 伸彰 埼玉県赤十字血液センター

輸血の適正使用については、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（血液法）」に基づき推進されて来ました。近年、少子高齢化により献血可能人口は減少の一途をたどる一方、患者は増大する傾向にあります。将来的には、輸血する血液が足りなくなる可能性があり、さらに適正使用を推進する必要があります。

輸血は、「血液製剤の使用指針」（厚生労働省医薬食品局長通知）を参考に実施していただくことが望めます。

埼玉県合同輸血療法委員会は、埼玉県における適正かつ安全な輸血療法の向上を目指してキャッチフレーズ・標語を募集することにしました。

スライド1



スライド2

表彰式 適正輸血を推進するための
キャッチフレーズ & 標語作品

【医療部門作品】

☆最優秀賞：考えて！本当に必要？その輸血！
自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床検査部 小杉 知宏 様

★優秀賞：減らそう なくそう 過剰輸血
埼玉中央病院 検査科 小柳 直也 様

★優秀賞：データ見て 患者指向の 輸血量
佐々木記念病院 薬局 伊東 靖男 様

【一般部門作品】

☆最優秀賞：限りある みんなの血液 大切に
三郷中央総合病院 検査科 金井 優弥 様

★優秀賞：適正な 輸血で命 つなぐ愛
藤村病院 検査科 新井 香那 様

★優秀賞：たいせつに 使っていこう 命の輸
小川赤十字病院 看護部 中島 智美 様

※募集案内は〇〇ページに掲載してあります。